

自分で考え・育つ遊び場 プレーパークへようこそ

プレーパーク(冒険遊び場)は、子どもたちが自由に工夫しながら外遊びできる場所。子どもの生きる力を育みます。区内でプレーパークを運営している方に話を聞きました。



大橋美紀さん

18年前から上高田台公園でプレーパーク「夢発見!草っパラダイス」を運営

子どもたち自身で遊びを考える

プレーパークの主役は子ども。どう遊ぶかを子どもたちが自ら考えます。野球やサッカーのように大人が決めたルールの中で楽しむのではなく、子どもも自らがルールを決める過程で、創造力やコミュニケーション能力などを身に付け、育っていきます。

初めて区外のプレーパークを訪れた時、プレーリーダー(子どもが遊ぶ環境を整える人)が子どもたちに蛇口の水

をかけたんです。初めての子育てということもあり「他人の子どもにそんなことしていいの?」と驚きましたが、子どもたちは大喜び。子どもをみんなで育てているようで、とても居心地が良かったんです。

中野区に引っ越してきた時、区内にそんな場所が欲しいと思い、立ち上げました。

世代を超えた空間

主な利用者は小学生ですが、年齢を問わず誰でも遊びに来られるのがプレーパークの魅力。就学前のお子さんとその保護者、中学生など、幅広い世代の方が集まります。時にはお子さんだけでなく近所の方が遊びに来ることも。

私の運営する「草っパラダイス」には、運営に欠かせないプレーリーダーはもちろん、子どもたちにベーゴマを教え

てくれる「ベーゴマおじさん」やラジオコンを教える「ラジオジ」などが来てくれることがあります。世代を超えたつながりが生まれ、みんなにとってすてきな場所になっていると思います。

伸び伸び遊べる場所にしたい

公園の周りは住宅街で、「子どもの声がうるさい」「道路に落書きしないで」など苦情をいただくことがあります。でも、禁止事項を増やしたら自由な発想で遊べなくなる。子どもたちの自由を尊重したいと思うんです。

だから私は、苦情のあった方に直接お会いして謝罪し、遊びの中で道路の絵を掃除させるなど対応を申し出て、納得してもらうようにしています。地道な活動ですが、少しでも多くの方がプレーパークの意義を理解してくれるとうれしいです。

ここで遊べばみんな友達 ～草っパラダイスでの一コマ～



自由に伸び伸び遊べます 学年を超えた交流が生まれます みんなで楽しくお片付け 保護者もボランティアとして活動



常連の小学生



初めて来た親子

いつもみんなのできる遊びを考えています。このプレーパークのチラシも私が作ったんです!

地域のベーゴマ大会で入賞した子がいるとか。子どもたちが上達する姿を見るとうれしいね

別の公園への道中でたまたま見つけました。子どもが吸い寄せられるように入っていくのでよほど気に入ったのだと思います



遊びのボランティア(ベーゴマおじさん)

安心して遊べるように

プレーパークでは多少のけがはつきもの。基本は自由に遊ばせますが、重大な事故が起きないように常に見守っています



▲弓矢が他の子に当たらないよう声を掛けるボランティア

行ってみよう

「夢発見!草っパラダイス」



会場 上高田台公園(上高田4-17)

日時 原則毎週水曜日午後1時~4時、第4日曜日午前11時~午後4時

問合せ先 上高田台公園運営委員会 ☎080(5026)1419



▲団体ブログ

プレーパークならではのこんな遊びも

プレーリーダーが考える、家や普通の公園ではできないスケールの大きな遊びに子どもたちは大興奮。保護者のみなさんにも好評です。



▲ウォーターライダー



▲落ち葉のプール

区内で広がるプレーパーク

地域のママ友5人が草っパラダイスで運営を学び、区内の公園4か所を巡回して開催している「わくわく!あそびば」。廃園となった幼稚園から遊び道具の寄付を受けるなど、地域のみなさんが協力し合い運営しています。

4月からは、活動に共感した近所の方が大和公園での運営を引き継ぎ、同園での開催日が増える予定です。「わくわく!あそびば」は東山公園を拠点に活動。プレーパークの活動が区内で着実に広がっています。☆4月以降の開催方法などについて詳しくは、団体ブログをご覧ください

遊びに来てね



「わくわく!あそびば」運営者のみなさん▶

行ってみよう

「わくわく!あそびば」



会場 東山公園(野方4-41)他

日時 毎週土曜日 午後1時~4時

問合せ先 探求あそび場づくりの輪 ☎080(2395)0516



▲団体ブログ